

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

697-735

事務事業名	文化財保護事業補助金(遠山の霜月祭)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	生涯学習・スポーツ課		包含する細々目	1	10	5	3	10	3	700
政策	6 地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり											
施策	63 地域資産の保存継承											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要						
		事業期間	17	年度～	年度							
						文化財保護法 県文化財保護条例 飯田市文化財保護条例・同施行規則 飯田市文化財保護事業補助金交付要綱						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	遠山の霜月祭(上村・南信濃)	保存会・座員数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			100	100		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	技術向上および後継者育成を図る。	研修会および振興のための事業数(回)	18目標	120	最終目標	120
			18実績		19目標	
			23目標		23実績	
			18目標		最終目標	
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	指定文化財の保護ために行う事業。指定文化財の保護事業のうち、飯田市文化財保護条例の規定による指定文化財の保護のために行う事業について、飯田市文化財保護事業補助金交付要綱に基づき補助する事業である。遠山の霜月祭(上村・南信濃)に対し、技術向上および後継者育成を図る目的で行われる(国重要無形文化財)保存伝承活動について、補助金を交付する。	18年度の実績 ・郷土芸能保存伝承のための活動支援および後継者育成支援。 ・保存・伝承に対する地元の理解をさらに深めるため、情報発信などを行うとともに、保存会や公民館を協働する。 ・美術博物館の特別展示において、展示及び踊りの披露等に協力し、飯田市内外に情報を発信した。	遠山の霜月祭(上村・南信濃)活動回数(回)	上村 70 南信濃 45
		19年度計画 ・郷土芸能保存伝承のための活動支援および後継者育成支援。 ・保存・伝承に対する地元の理解をさらに深めるため、情報発信などを行うとともに、保存会や公民館を協働する。	遠山の霜月祭(上村・南信濃)活動回数(回)	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	700	700
	事業費計(A)	700	700
人件費	正規職員所要時間	18年度 100	19年度 100
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	358	358
	トータルコストA+B	1,058	1,058

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	保存・継承させる。	保存・継承されている地域資産の数(累計)	現状値	436	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	520
		支援の数(ムトス)	現状値	30	19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標	36	

<b>この事業を開始したきっかけ</b> 飯田市・上村・南信濃村の合併による。	<b>事業を取り巻く状況の変化</b> 少子高齢化が進み、後継者問題が生じている。	<b>事業に対する市民や議会の意見</b> ・地元の保存会が積極的に保存伝承活動を展開するとともに、小・中学校でも授業に取り入れるなど、伝承活動に取り組んでおり、その活動費の助成が求められている。 ・議会において、合併後も新飯田市の財産と位置付け、積極的な活用と支援を求められている。
--	--	--

## 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) <b>結びつく</b> (その理由) 地域にある文化遺産の大切さを理解し、住民全体で保存・伝承活動を進めることで、文化財の価値が上がり、全国的に誇れる資産として発信できる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) <b>余地がある</b> (その理由) 公民館などと協働し、後継者育成などの指導を強化する。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) <b>必要性がない</b> (その理由) 伝統民俗芸能であるため。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) <b>影響あり</b> (その理由) 後継者の育成ができなくなり、伝統文化を後世に伝えることができなくなる。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) <b>必要性がない</b> (その理由) 市民の共有財産としての文化財の保護伝承をすることが目的であり、見直しの必要はない。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)。 (評価) <b>類似事業なし</b> (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) <b>必要ある</b> (その理由) 国重要無形文化財であり、市としても文化財の保護・伝承に関与すべきである。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)。 (評価) <b>不可能</b> (その理由) 文化財の保存・伝承にかかわる事業費に対する補助であり、補助率は要綱を遵守しており削減できない。
		公平性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由) 受益者は市民であり、負担や程度は妥当。

## 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 財政的支援をはじめ、広報活動の支援策を検討する。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	課題 - 少子・高齢化による後継者不足。 克服方法 - 地域的に限定しない多様な主体を育成支援していく。

### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	<b>必要性がない</b>	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	